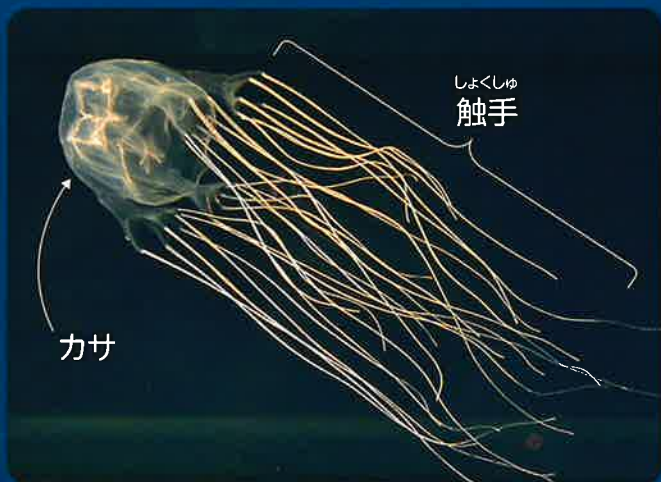


ハブクラゲに 気をつけよう!



ハブクラゲってどんな生物?



ハブクラゲは5月から10月ごろに沖縄の海にいる大きなクラゲです。半透明な頭と、たくさんの長い手を持っていて、頭の部分をカサ、たくさんの手を触手と呼びます。

長い触手は強い毒の針を持っていて、とても危険です。触手に刺されるととても痛く、たくさん刺されると、命の危険もあります。

◆ 刺されたらどうすればいいの？

刺されたら、刺された場所をこすったりせず、海から出て助けを呼びましょう。刺された場所に酢をたくさんかけて触手をそと取り除いてください。痛みがあれば冷たい水や氷で冷やしましょう。
触手を取り除いた後は、病院へ行きましょう。



※【保護者の方へ】
呼吸や心臓が止まった場合は、すぐに人工呼吸や心臓マッサージを行いましょう。

◆ 刺されないためにはどうすればいいの？

クラゲネットの中で泳ぎましょう

沖縄のビーチには、ハブクラゲが入ってこれないようにネットを設置してある場所があります。ハブクラゲに刺されないためには、ネットの内側で泳いだり遊んだりしましょう。



長そで、長いスパッツなどを 着て泳ぎましょう

ラッシュガードや長そでシャツ、スパッツなどを着て、肌をできるだけ出さないようにしましょう。ハブクラゲに刺されても何か着ていれば毒針が皮ふまで届かないので、刺される場所が少なくなります。



◆ ハブクラゲってどこにいるの？

沖縄の海のいろいろな場所にいて、深さ50センチほどの浅い場所でも泳いでいます。ハブクラゲは半透明なので、海の中ではなかなか見つかりません。



ハブクラゲが見えるかな？

◆ 保護者の方へ

ハブクラゲなどの海の危険生物、クラゲネットの情報などについて、詳しくはこちらをごらんください。



ハブクラゲについてのお問い合わせ

沖縄県 保健医療部 衛生薬務課 ☎098-866-2055
衛生環境研究所(衛生科学班) ☎098-987-8223